



2026年6月19日

各 位

会 社 名 アイサンテクノロジー株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 加藤 淳  
 ( 東証スタンダード・名証メイン コード:4667 )  
 問合せ先 取締役経営管理本部長 曾我 泰典  
 ( Tel 052-950-7500 )

### 業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2025年5月9日に公表した2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

##### (1) 2026年3月期連結業績予想と実績値の差異(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,200	百万円 600	百万円 580	百万円 382	円 銭 70.83
実績値(B)	7,593	760	761	522	98.95
増減額(B-A)	393	160	181	140	
増減率(%)	5.5	26.7	31.2	36.7	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	6,220	449	445	286	53.07

##### (2) 連結業績予想との差異の理由

当社グループでは、前事業年度の55期を初年度としたFY2024\_2026中期経営計画(Development&Evolution)を策定いたしました。本計画は、「既存事業の価値の最大化と新たな価値の創造」に取り組み、加えて、積極的な人財獲得と社員のスキルアップを並行して展開する人的資本経営の推進と、DXによる生産性向上により、当社グループ全体のアップデートを図っています。

その結果、公共セグメントにおいては、三次元点群処理ソフト「ANIST」を中心とした販売が好調に推移したほか、大型案件の受注も獲得をいたしました。モビリティ・DXセグメントにおいても、全国各地における自動運転の社会実装に向けた需要が増加しており、当社グループの受注が拡大しており、業績拡大に寄与しております。また、中期経営計画に沿った投資活動・採用及び教育活動も実施し、当社グループの今後の成長に欠かせない人財の確保も行いました。

以上により、当社連結子会社である有限会社秋測の不適切な取引による業績への影響はあったものの、売上高・利益ともに、前回発表予想を上回る着地となりました。

以 上